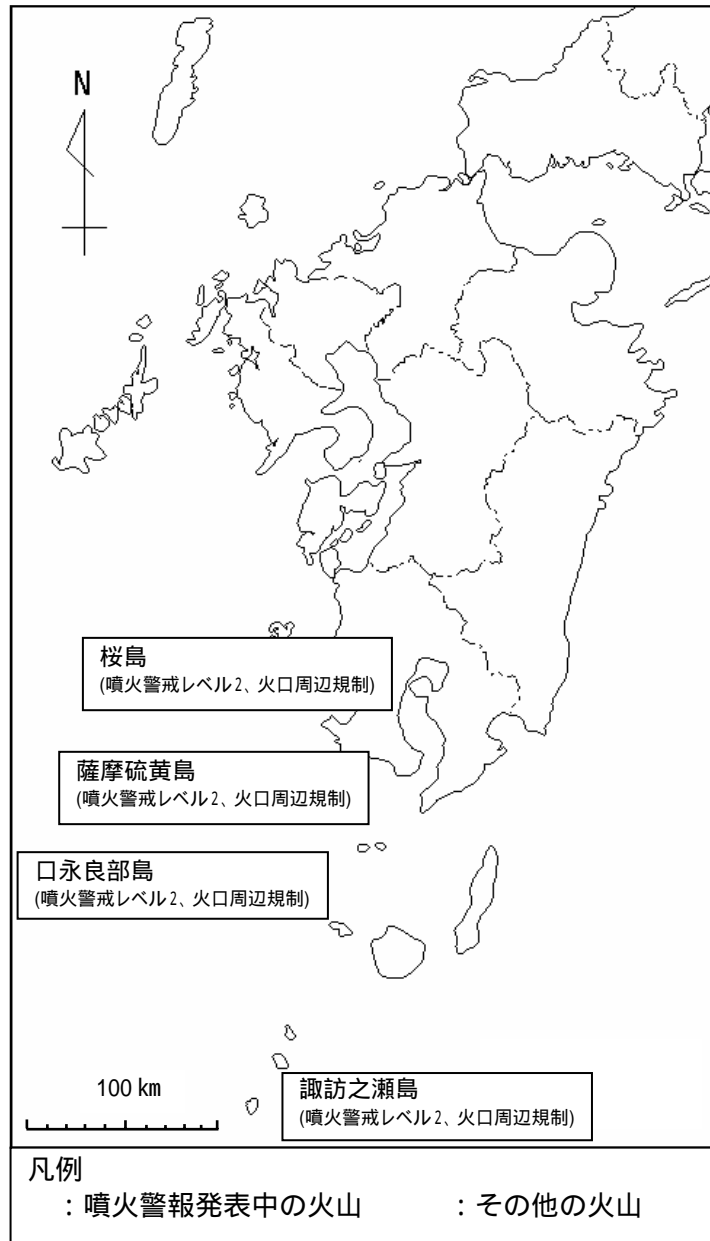


管内月間火山概況 (平成 19 年 12 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況

- 噴火警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）：桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）：九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
噴火予報（平常）：阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況(平成 20 年 1 月分)は平成 20 年 2 月 7 日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」、「数値地図 10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平 17 総使、第 503 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動状況及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

九重山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳 [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山 (新燃岳) [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

14 日から 15 日にかけて火山性地震がやや増加しましたが、その他の観測データに変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山 (御鉢) [噴火予報 (噴火警戒レベル 1、平常)]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [噴火警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

南岳山頂火口では、爆発的噴火が発生し、ごく小規模な噴火も時々発生しましたが、昭和火口からの噴火はありませんでした。火山性微動は、消長を繰り返しながらやや多い状態で経過しています。

今後も、南岳山頂火口及び昭和火口の周辺に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

薩摩硫黄島 [噴火警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

噴煙活動はやや活発で、地震回数はやや多い状態が続いています。硫黄岳山頂火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

口永良部島 [噴火警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。新岳火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

諏訪之瀬島 [噴火警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火が時々発生しました。

今後も、御岳 (おたけ) 火口から半径約 1 km の範囲に噴石を飛散させる程度の小規模な噴火が発生すると予想されますので、これらの地域では噴火に対する警戒が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。